



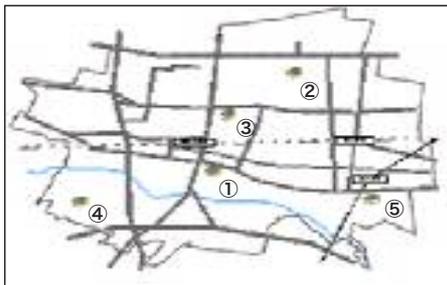
小金井 月刊 こうみんかん

2013.6/1 No.422

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

小金井市には、本館と4つの分館があります。図書館・児童館との併設館などそれぞれの特色をもっています。そして、その複合館のあり方や、部屋の構成には、市民の思いや歴史が詰まっています。



① 公民館本館（中町4-15-4）

公民館本館は、福祉会館の3階、4階部分にあります。建設にあたって、当時は婦人会館建設の取り組みも活発で、大人数を収容する講堂、老人いこいの部屋、調理室など幅広い市民要望があり、福祉会館建設へとつながってきました。

その後、福祉会館のあり方は、大きく変わりましたが、公民館本館が今日あるような施設であるのには歴史があることが分かります。本館のみにある事業としては、「障害者青年学級みんなの会」、「市民映画会」、「子どもの人権講座」があります。



② 緑分館（緑町3-3-23）

緑分館は、浴恩館公園の隣にあり、2階建てで図書館が併設しています。屋外にはテニスコートと野外調理場、陶芸窯があります。さらに公民館では、唯一宿泊ができ、幅広い活動に対応できる施設です。

公民館主催の陶芸入門教室が毎年9月から開かれており、陶芸自主サークルも多く活動しています。陶芸入門教室では講師の方が丁寧に教えてくださるので、粘土に触ったことのない方も気軽に始めることができます。講座終了後は8割程度の生徒の方が自主サークルに入り、陶芸を続けています。作品は毎年センターまつりに展示し、出来栄を披露しています。

この他にも緑分館ならではの講座も多くあるので、一度足を運んでみてください。

※サークル加入には公民館主催の陶芸入門教室の受講が必須です。



③ 本町分館（本町2-15-11）

北大通りに面した6階建て都営住宅の1階にあります。貸出部屋が3部屋と、公民館の中で一番小規模ですが、利便性がよくアットホームな雰囲気です。

開催講座は、ここ数年人気の歌声喫茶をモチーフにした「元気な歌声で小金井を明るくしよう」、実際に外国に住んでいた方からお話を聞く「住んでみてわかるシリーズ」、近隣の湧水や水辺を散策しながらその土地の変遷などを学ぶ「水辺と緑地散歩」など、実用的、実践的なものを多く企画・開催しています。



④ 貫井南分館（貫井南町4-3-23）

昭和48年に開設した公民館貫井南分館は、1階は児童館、老人いこいの部屋、2階に公民館の配置となっています。児童館に遊びに来るチビツ子、バンドルームへ練習にくる高校生、この地域の老人会の高齢者の方まで、まさに異世代が入り混じった方々で賑わっている施設です。

講座は、座学より野外学習を重視した「植物観察」や、「江戸野菜に親しもう」等、“楽しい”をモットーに企画をしています。また、若い世代への公民館参加と仲間作りなどを目的とした、「フォークサウンド弾き語り入門講座」を夜間（午後7時～9時）での講座も行っています。



⑤ 東分館（東町1-39-1）

小金井市公民館東分館は、西武多摩川線新小金井駅から徒歩3分、東町地域の中でも三鷹市境に近い立地条件にあります。近隣に市施設がないこともあり、子どもから高齢者まで多くの皆さんで賑わっています。

主催講座は、高齢者の仲間作りを目的とした「くりのみ学級」をはじめ、自分流の生き方を探す「オレ流おやじ塾」、Do It Yourselfをテーマに「女のDIY講座」などを実施しています。なかでも、平成21年度から続く「ひがし子ども囲碁教室」は東分館ならではの講座になっています。



募集

子どもの人権講座

「いうことをきかない、という前に」本館

「みんなで支える子どもの居場所

もっと使える小金井の子どもの権利条例」

を合言葉に始まったこの講座も7年目を迎えました。

今年のテーマは、

「いうことをきかない、という前に」としました。

子どもたちに期待をもつ一方、不安と、苛立ちをもってしまう私たち。でも、いうことを聞かないことは悪いことばかりでしょうか？

そこには、僕たちには意思があるという大切なメッセージがこめられているかもしれません。

家庭で、学校で、クラブで、地域で……いじめや体罰ではなく子どもたちの眼が輝く明日を願う私たち。

子どもたちを取り巻く「今」を見つめ、子どもたちの声を聞き、子どもたちと歩む私たちにできることを語り合います。

とき・内容 右表のとおり。時間はいずれも、午前10時～正午

ところ 公民館本館学習室A B

(武蔵小金井南口徒歩8分、福祉会館3階)

ただし、7月14日のみ、小金井市立小金井第一小学校ミーティングルーム

参加 無料 保育あります。(要事前相談)

金曜日のみ参加、日曜日のみ参加申込可。

定員 市内在住・在勤・在学の方60人

市外の方10人(申込順)

申込 6月3日から電話、FAXまたは直接公民館本館へ。(☎042-383-1184、FAX042-387-1226)

※講座情報は、HPからも検索できます。

(小金井市HP→各課のページ→

公民館や事業案内で検索)



募集

国際交流事業

「住んでみてわかるシリア」

本町分館

シリアの生活、文化、歴史、そして現地で感じたシリアの姿を学習し、自分たちに何ができるか考えませんか。

とき 6月20日(木) 午前10時～正午

ところ 公民館本町分館

講師 桑田和幸さん(元JICAシニア海外ボランティア)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人(申込順)

申込 6月3日から、電話又は直接公民館本町分館(☎042-383-1170)へ。

お詫びと訂正

月刊こうみかん5月号1面「第22回緑センターまつり」の5月31日(金)と6月1日(土)の開催時間に誤りがありました。正しくは5月31日(金)13:00～17:00、6月1日(土)9:00～17:00です。お詫びして訂正致します。



回	日付	曜日	内容	講師
1	6/28	金	いうことをきかない、 という前に	宮澤陽子さん (元小金井市子ども家庭支援センター センター長)
2	7/5	金	話を聞いてよ、お父さん! 比べないでね、お母さん!	増田修治さん (白梅学園大学准教授)
3	7/7	日	車座トーク ○小学生から：ミニこが ねいに参加して ○中高生から ○私たちはどううけとめる?	こどもたち & おとなたち
4	7/12	金	楽しい、創造的な スポーツ指導	森 輝明さん (小金井市スポーツ 少年団本部長) 横森茂樹さん (中学校教員-体育-)
5	7/14	日	ディスレクシアって 知ってますか?	藤堂栄子さん (NPO法人エッジ会長)
6	7/26	金	「子どもの権利に関する 条例」を読む・耕す・使う ～スクールソーシャルワ ークの実践から考える～	馬場幸子さん (東京学芸大学 准教授)
7	7/28	日	車座トーク ～この思いを どう伝える?～	参加者全員



募集

子ども体験講座

「野川生物観察会」

本館

野川にはどんな魚や虫が棲んでいるか知っていますか？

川の中に入って野川の生き物たちを観察します。

濡れてもいい服装、靴(ビーチサンダルは不可)でご参加ください。



集合時間・集合場所 6月29日(土)

午前9時30分 前原町西之台会館前

講師 武部 令さん

大石征夫さん(いずれも森林インストラクター)

対象 小学生と保護者(小学2年生以下は保護者同伴)

定員 25人(申込順)

申込 6月17日午前9時から、電話または直接公民館本館(☎042-384-1184)へ。

祭 第26回 東センターまつり 祭
7月5日～7月7日

東分館の利用者が年に一度一堂に会し、日頃の活動成果を発表しあうなど交流と親睦を深めるため、下記の日程で開催いたします。

皆さん、お気軽にお越しください。

<とき・内容>

7月5日(金) 13:00～17:00

作品展示(絵画、型絵染、絵手紙、俳句、つる細工、水墨画、羊毛細工、リボンレイなど)

風流江戸芸「かつぼれ」公演会 午後1時～

7月6日(土) 9:00～17:30

展示 9:00～17:00

イベント(琉球舞踊、インドネシア舞踊・民族楽器演奏) 午後1時～5時30分

模擬店(喫茶、手作りクッキー、健康コーナー)

お茶席、囲碁コーナー、リサイクル図書

7月7日(日) 9:00～18:30

展示 9:00～16:00

喫茶・模擬店 10:00～15:00頃

邦楽発表会(カラオケ、新舞踊、民謡、詩吟、合唱) 10:00～16:00

ダンスパーティー 12:00～18:30

<公民館主催イベント>

「エバリーコンサート」

とき 7月6日(土) 午前11時～正午
※開場: 午前10時30分～

会場 学習室A・B(2階)

参加費 無料(申込不要、当日直接会場へ)

問合せ 公民館東分館 ☎042-384-4422



募集

16mm 発声映写機操作講習会

劇場映画のデジタル化が進んでいます。

他方、16ミリ映画の貴重な作品を活用しようという動きにも注目が集まっています。

講習会に参加して、資格を取ってアナログ映画の企画をしてみませんか。

とき 6月29日(土)
午前9時～午後3時

ところ 公民館本館

内容 実技講習、実技試験

対象 16歳以上の都内在住・在勤・在学の方

定員 20人(申込順)

持ち物 筆記用具

修了証用写真2枚(縦30ミリ横25ミリ)

申込 6月3日から電話または直接公民館本館(☎042-383-1184)へ。



心に残った名画

「恐怖の報酬」(1952年 仏制作)

私がスリルとサスペンスそして興味ろさを主題とする映画を3本取り上げるとすれば、3位がスピルバーグの「ジョーズ」、2位がヒチコックの「鳥」。そして1位がアンリ・ジョルズ・クルーゾー監督の「恐怖の報酬」である。

1952年に制作された相当古い作品である。なぜ、そんな古いものを? 一言でいえばとにかく興味ろいのである。手の汗を握るのである。

148分の上映時間があっという間に過ぎる。クルーゾー監督が自らシナリオも手掛けているが、これがすばらしい。

主役を演ずるのはニトログリセリン。この危険極まりない爆発物を中心に物語は始まる。そしてそれを運ぶ輸送トラック。

フランスを代表する歌手イブ・モンタン、盟友のシャルル・バネル以下4人の演技もすごいのであるが、上記の存在感には及ばない。

舞台は中央アメリカ、焼きつく太陽と耐えがたい湿気にむせかえる風土。この冒頭の描写で一気に画面に引きずり込まれる。

なぜ30人も男が、この爆発物を運ぶトラックの運転手に応募してきたのかわかる。

遠く離れた油田が火災を起こす。それを爆風で一気に消すために、ニトログリセリンを運ぶ依頼をしてきたのである。

トラックは2台、採用者は4名、その報酬が1人2000ドル、途中様々な困難を乗り越えてモンタン1人のみが油田にたどり着く。

詳しい事を書くスペースがないのは残念。あっと驚く結末を含めて4人とも死んでしまう。

作中、モンタンとバネルが同性愛者として描かれているのだが、私は後から知った。最初に見た時それを読みとれなかった。残念である。

緑長生会 明智征四郎

職員の消息

☆☆ 退職 ～お疲れ様でした～ ☆☆

田中 茂 主査(本町分館)

戸木信雄 副主査(緑分館)

渡辺正志 主事(貫井南分館)

☆☆ 公民館へ ～よろしくお願ひします～ ☆☆

大野耕司 主査(本町分館)

藤原弘道 主事(緑分館)

千賀義幸 主事(貫井南分館)

◆ 6月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp
ITサポートは、各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館
中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300
☆6/15 市民映画会 「私家版 今井正」 市報 6月1日号に詳細 ☆子ども体験講座 「野川生物観察会」 市報 6月1日号に詳細	☆国際交流事業 「住んでみてわかるシリア」 市報 6月1日号に詳細		☆第26回東センターまつり 市報 6月15日号に詳細	

野川の野草



4月中旬、野川にて春の野草を見つけました。ぽかぽかな日差しの中、数日前まで枝垂れ桜が満開だった野川沿いはすっかり寂しくなりましたが、足元には色とりどりの小さな花々が咲いていました。



〈ナガミヒナゲシ〉

最近、道路等でよく見かける花。地中海沿岸から中欧原産の帰化植物。

1年生草木であり、路傍などの荒地に生育する。

秋から冬に芽生え、春に開花する。

〈アカバナユウゲショウ〉

アカバナ科の花で、マツヨイグサの仲間。夕方から淡紅色の花を開くのでこの名があるが、実際は昼から咲いていることが多い。

明治時代に観賞用として南アメリカから持ち込まれたものが野生化した。



〈カラスノエンドウ〉

学術名は、ヤハズエンドウというが、一般的にはカラスノエンドウの名で知られている。

実ったさやを割って種を除き、さやの片方をちぎって吹くとピーっと音が出るので、子供の頃試した方もいるのではないのでしょうか。



私の散歩道



今年の桜の咲き様は、みごとでした。

例年より二週間早く開花。数日後、満開となりそのまま艶姿を半月近く魅せてくれました。犬二匹を伴っての散歩。前原小を背に野川沿いを西に向かい、「鞍骨坂」でUターンするか、休日なら東京経済大学の周りを一巡、気が向けば「お鷹の道」まで足を伸ばします。

桜が市の花でもある小金井市。この季節、毎日がお花見散歩となり、染井吉野、ヤマザクラ、しだれ桜といずれ妍を競う有様に心を奪われます。三十年前、関西より移り住んだ小金井市に定住。徳川八大将軍吉宗公がこの地に桜の苗木を植樹し、江戸の桜名所とした話は有名ですが、私の故郷がその吉宗公出身の紀州であることに、この地との縁を感じます。

毎春、野川沿いの桜並木に桜吹雪を浴びながら佇む方がおられます。初老の男女のそばには、見慣れた愛犬の姿がありません。家族の一員を亡くしたことを知ります。桜には、出発と共に哀惜の花言葉もあるのです。

前原町在住 中村宣子

編集後記

将棋ファンの皆様こんにちは。公民館本町分館の将棋大会、いかがでしたか？ところで、この春の話題は、プロ棋士VSコンピュータ将棋の団体戦でした。4回戦の塚田九段の粘りは感動的でしたね。当日の解説にあたっていた木村一基八段は、将棋雑誌にこんな言葉を載せていらっしゃいます。「負けと知りつつ目を覆うような手を指して頑張ることは結構辛く、抵抗がある。でも、その気持ちを無くしてしまったら、きっと坂道を転げ落ちるかのように転落していくんだろう。」(わIV)

古紙配合再生紙を使用しています。